

## FD 関連研修会 参加報告書

主 催	関西地区FD連絡協議会
企画名称・テーマ	2011年度「授業の基本」ワークショップ 「授業の基本と授業づくり」
開催日時<会場>	2011年4月29日(金) <滋賀県立大学>
参加者所属	社会福祉学部 社会福祉学科

### 参加報告

#### 第1講 授業の基本～もっとも基本的なこと～

まず倉茂先生が、「おいしいみそ汁の作り方」という授業を想定し、「わるい授業」と「良い授業」を5分ずつ演じられた。受講者は、2つの授業を比較してどのような違いがあったか考えた。その結果、授業では、授業スキル（発声・発問・視線・板書・双方向性など）と、授業展開のしかた（導入→展開）という2つの柱があることを理解した。

また、最近の学生（ゆとり世代）の性格・行動の特徴、学力・高校までの履修の状況を理解して、授業を作ることも重要であるとして、滋賀県立大学の学生の事例を報告していただいた。

#### 第2講 授業の方法入門編～授業展開で陥りやすい罠～

本講では、多くの大学で見受けられる問題点を具体的事例を交えながら解説があった。倉茂先生の表現では以下の2点である。①「総論大好き症候群」「具体性欠乏症」②「学理解度確認不全」「発問欠乏症」

倉茂先生が、水中毒、雷の観測、基礎物理などをテーマにした授業の展開について悪い例と良い例を演じ、受講者はその違いを確認した。また、宇佐美寛(2004)「大学授業の病理」から実際の看護系の授業指導案と具体事例としての教材が示され、授業の中に具体性を持たせることによって学生の理解の定着率を上げる必要性を理解した。また、発問については、目的を明確にした発問を行なうことが重要であり、4つの目的に対応した発問のしかたについて学んだ。

#### 第3講 教材研究のしかた～授業づくりワークショップ～

本講では、授業のヤマ（どうしても伝えなければならないポイント）をどこに置くか、ヤマへ向けての持っていきかた（ストーリー）を考える際の教材研究の必要性について説明を受けたうえで、4人のグループに分かれ、「おいしい炒め物のつくりかた」というテーマとテキストとしての資料を用い、5分間の授業を実際に作り、発表した。各グループの発表に対し、倉茂先生よりコメントをいただいた。

### 3 本学のFD活動における検討課題

今回参加させていただいた研修は、授業の基本中の基本となる、授業展開のポイントと授業実施のスキルについて学ぶという内容であり、授業で関わる学生について理解したうえで、教え方の基本をきちんと押さえて授業を作ることで、学生に伝わる授業となることを学んだ。

本学においても、担当科目によって、受講者数や内容も様々であるが、どの授業においても共通して不可欠である基本的な内容であった。良い授業を作るためには、学生に伝えなければならない内容をどのように伝えるのかが常に問われている。そのためには今の学生の実態（性格・学力など）を1人1人の教員が把握したうえで、学部の教育目標を再確認し、各授業の到達目標へ学生を導くための授業運営を行なうことが求められているといえる。

以上